学校番号	2101

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	４単位	年次	全年次(現代の国語・言語文化履修後)
使用教科書	「文学国語」　（数研出版）						
副教材等	「〈五訂版〉漢字検定５～２級対応　常用漢字ダブルクリア」　（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

近現代を代表する文学を読むことを通して、豊かな想像力を培ってください。人々の心の機微や情景を作品や他者の意見から学び、自分が見ることのできる世界を広げていきましょう。また、主体的に文学を読むことで、言葉を通して他者と関わり、伝え合う姿勢を養いましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・実生活において使用される漢字を書くこと、読むことができる。 ・登場人物の感情の機微や、情景が表すことがらを読み取ることができる。	・登場人物の心情を、文章における表現描写から読み取り、自己の言葉で表すことができる。 ・文章の構造を理解し、その構造が読者にどういった印象を与えるのかを考え表現することができる。 ・当時の社会情勢と作家の生涯から、その作品が何を反映しているものであるかを考え表現することができる。	・言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりすることができる。 ・言葉から様々なことを感じたり、感じたことを言葉にしたりすることで心を豊かにすることができる。 ・言葉を通じて他者や社会と関わり自他の存在について理解を深めることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前半	タイトルの由来を考える ［教材］ 『無用の人』	a：登場人物の感情の機微を読み取ることができる。 b[読]：作品の描写を参考にして、タイトルの由来を考察することができる。 c：他者の意見を積極的に読み取ろうとしている。また、自分の意見を他者に伝えるために工夫している。	・ワークシート ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・行動の観察
	登場人物の心情を捉える ［教材］ 『山月記』	a：登場人物の感情の機微を読み取ることができる。 b[書]：登場人物が自分に対してどういった感情を抱いているのか、その心理が現代人に通じるところはないか、考察して表現することができる。 c：登場人物の心情と、現代人や自分自身の心理を照らし合わせて、考えを深めようとしている。	・ワークシート ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・行動の観察
	寓話がえがく社会風刺について考える ［教材］ 『山椒魚』	a：登場人物の心情や、それぞれの描写の寓意性を読み取ることができる。 b[読]：作品のどういった点が社会風刺となっているのかを考え、まとめることができる。 c：他者の意見を積極的に読み取ろうとしている。また、自分の意見を他者に伝えるために工夫している。	・ワークシート ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・行動の観察
	詩歌を味わう ［教材］ 『永訣の朝』	a：詩歌の構成や表現の特色を理解することができる。 b[読]：詩歌のリズムを感じながら、作品の主題や、作品が描いている情景について考えを深めることができる。 c：他者の意見を積極的に読み取ろうとしている。また、自分の意見を他者に伝えるために工夫している。	・ワークシート ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・行動の観察
後半	タイトルの由来を考える ［教材］ 『ひよこの眼』	a：登場人物の感情の機微を読み取ることができる。 b[読]：作品の描写を参考にして、タイトルの由来を考察することができる。 c：他者の意見を積極的に読み取ろうとしている。また、自分の意見を他者に伝えるために工夫している。	・ワークシート ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・行動の観察
	登場人物の心情を捉える ［教材］ 『こころ』	a：登場人物の感情の機微を読み取ることができる。 b[書]：語り手がどういった感情を抱いているのか、その語りや描写から考察して表現することができる。 c：登場人物の心情を多面的に読み取り、考えを深めようとしている。	・ワークシート ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・行動の観察

	寓話がえがく社会風刺について考える ［教材］ 『赤い繭』	a:登場人物の心情や、それぞれの描写の寓意性を読み取ることができる。 b[読]:作品のどういった点が社会風刺となっているのかを考え、まとめることができる。 c:他者の意見を積極的に読み取ろうとしている。また、自分の意見を他者に伝えるために工夫している。	・ワークシート ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・行動の観察
	私小説を味わう ［教材］ 『檸檬』	a:私小説の特色や成り立ちを理解することができる。 b[読]:作者の心境を読み取りながら、作品の主題について考えを深めることができる。 c:他者の意見を積極的に読み取ろうとしている。また、自分の意見を他者に伝えるために工夫している。	・ワークシート ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・行動の観察

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間

・書くこと　…　（　３０～４０　）時間

・読むこと　…　（　１００～１１０　）時間